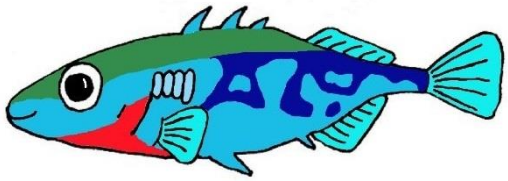
津屋のハリヨ調査 2015 年

私たち、**大垣東高等学校　理数科**の津屋地区でのハリヨの調査は、今年で１０年目になりました。岐阜経済大学　森　誠一先生の御指導と中日本氷糖様の御支援、そして住民の皆さんの御協力をいただき、様々な調査をしています。

～「津屋の宝物」ハリヨ～



ハリヨはトゲウオ科イトヨ属の魚です。オスの婚姻色や巣作り、求愛行動など、その特有の繁殖行動は、大変有名です。ハリヨは現在、環境省レッドリスト絶滅危惧種ＩＡ種（ごく近くに野生での絶滅の危険性が極めて高いもの）に登録されており、日本ではとても希少な魚となってしまいました。

ハリヨは、もともと北方系の淡水魚であり、夏場でも 20℃を越えない低い水温が必要です。津屋地区は、トゲウオの世界最南端の生息地の1つとなっています。なぜなら、皆さんも御存知のように、扇状地からの伏流水に由来する津屋地区の湧水は、夏でも水温が低く保たれるため、ハリヨの大切な生息場所となるのです。2013 年 9 月には津屋川水系清水池ハリヨ生息地が「国の天然記念物」に指定されました。

～調査の内容～

☆行動観察☆

巣の周りで何をしているの？？

繁殖期の 3 月から 5 月にかけて営巣するハリヨの雄の行動を観察し、ノートに記録しました。

ハリヨが巣をつくる様子や、卵に新鮮な空気を送る**ファンニング**、巣穴をつついたりするなどの様々な面白い行動を観察することができました。

☆調査の様子☆

どんな生物がいるかな？

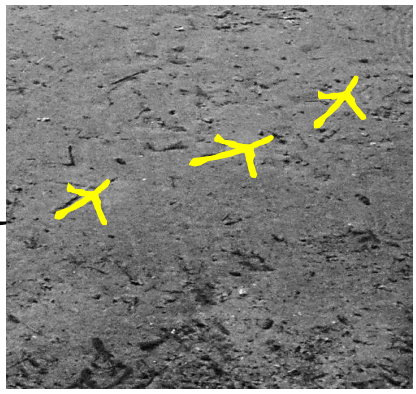
池の環境を調べています

☆個体数調査☆

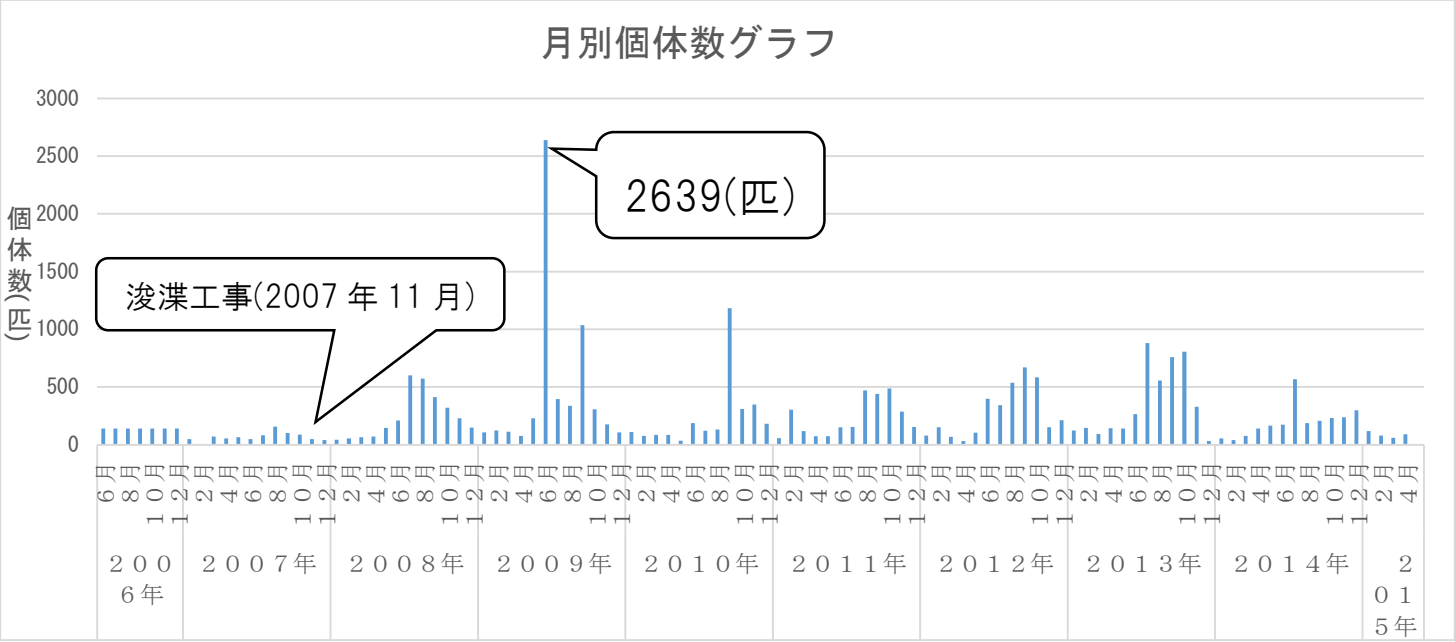
ハリヨの個体数の調査は、現在、3つの地点に分けて行っています。そのうちの1つは網を使用した追い込みで、残りの2つはもんどりと呼ばれる仕掛けを使用して捕獲します。追い込みは巣がないかを確認してから行っています。なお、捕獲後のハリヨは丁寧に扱い、池に返しています。

下のグラフは今までの個体数の変化を示しています。2007 年の浚渫工事以降に爆発的な増加が見られましたが、その後はおおむね安定して増減を繰り返しています。3 月から 5 月の繁殖期で生まれた個体が 6 月以降に多く捕獲されていることがわかります。

ただ、冬から初春にかけて個体数が減少しています。同時期に**鳥の足跡やくちばしの痕がついた個体が観察されたり、堆積物により水深が浅くなったり**しており、ハリヨへの影響が危惧されます。



鳥の足跡がありました！！
くちばしの痕のあるハリヨも見られました！



これからもこの地域の宝物である「ハリヨ」を守っていくための調査となるよう頑張ります！